



Japan Association for Diabetes Education and Care

報道機関各位

日本糖尿病協会マスコットキャラクターが誕生 糖尿病のイメージアップに貢献

2016年3月3日

公益社団法人日本糖尿病協会（所在地：東京都千代田区 理事長 清野裕（せいのおゆたか／関西電力病院 院長）は、糖尿病の正しい知識を広め、患者さんの療養を支援する活動を象徴するマスコットキャラクターを決定し、当協会の新しい顔として活用していくことになりました。



※商標登録出願中

■名前は「マークくん」

新たに誕生したマスコットキャラクターの名前は「マークくん」です。長く大きな手を持つテナガザルをモチーフに、頭の上で腕をまるく組んでいるのが特徴です。患者さんご家族、そして患者さんを支援する医療者をその長い手で丸く包み、糖尿病治療の要諦であるチーム医療を表現するとともに、糖尿病と闘う輪を社会に広げていきたいという意思を示しています。

また、マークくんの青く長い手は世界糖尿病デーのシンボルマーク「ブルーサークル」にもつながり、日本糖尿病協会の活動が国内にとどまらず、世界も視野に入れていることを表現しました。

■「マールくん」の誕生まで

日本糖尿病協会は、糖尿病の正しい知識を広め、市民の糖尿病発症予防や患者さんの合併症予防に取り組んでいます。そうした活動を様々な世代の人に知ってもらおうと同時に、糖尿病が持つマイナスイメージを払しょくして、特に未受診や治療中断率が高い若い世代が治療に積極的に取り組む空気を醸成するために、親しみやすいマスコットキャラクターを作ることになりました。

昨年 11 月から 2 ヶ月間一般公募を行い、201 点にのぼる応募作品の中から、啓発委員会での審査により、広島県在住の岡本麗子さんの作品「マールくん」が最優秀賞に選ばれました。作者の岡本さんは、「マールくんが、患者さんと医療者が手を取り合って糖尿病と闘うのをお手伝いし、幅広い人に愛されるキャラクターに育つことを期待しています」とコメントしています。

マールくんは、今後、当協会が制作する印刷物に登場するとともに、無料通話アプリ LINE のスタンプなどにも活用していく予定です。

日本糖尿病協会は、マールくんとともに、今後一層、糖尿病の知識の普及と患者さんの支援に取り組んでいきたいと考えています。

■公益社団法人 日本糖尿病協会について

日本糖尿病協会は、糖尿病に関する正しい知識の普及啓発、患者及びその家族への療養指導、国民の糖尿病予防、健康増進への調査研究を行うことを目的に、1961 年（昭和 36 年）に結成されました。現在の会員数は、110,000 人。糖尿病患者とその家族、医師、看護師・栄養士・糖尿病療養指導士などの医療スタッフおよび糖尿病に関心のあ一般市民で構成されています。47 都道府県支部の下に約 1,600 の糖尿病「友の会」を置き、患者間の交流や、地域社会への糖尿病啓発活動を通じて、日本の糖尿病の抑制を目指しています。

1987 年（昭和 62 年）に社団法人となり、2005 年（平成 17 年）に特定公益増進法人、2013 年 4 月（平成 25 年）からは公益社団法人になりました。

(URL : www.nittokyo.or.jp / facebook : www.facebook.com/nittokyo)

◇本件に関するお問い合わせ◇

公益社団法人日本糖尿病協会 担当：堀田
〒102-0083 東京都千代田区麹町 2-2-4 8F
TEL : 03-3514-1721 FAX : 03-3514-1725
E-mail : hotta@nittokyo.or.jp